

2019年3月修了生12名のコメント ～2年間の研修を振り返って～

● 飯塚 玄明 (2017年 筑波大卒)

2年間の研修を振り返り、私は済生会中央病院で研修できて成長できたと考えている。内科と救急を強化したいと考え初期研修に望んだが、手技や症例に恵まれ望むことができた。自身で勉強したり、やる気を見せることで、できる手技は多くなり、モチベーションは比較的高く継続できたと思う。

特にホームレス病棟では2ヶ月間、朝6時から採血をして夜22時頃までカルテを書いたり、調べごとをしていたのは懐かしい。急性期病院で学んだことを、今後家庭医として活かしていきたい。

● 石塚 隆浩 (2017年 杏林大卒)

4年前、代わり映えしない大学生活が嫌で自分の大学を出たいという思いから、研修先を探しはじめました。色々で見学やら説明会に行ってみて、そのうちせっかく就職するなら、研修病院として歴史があり、ひたむきに医療に打ち込めるところで働きたいと思うようになり、その結果、当院を選びました。

実際に研修を終了してみて、まだまだ医者としての課題は残るところと思いますが、自分にできるベストな研修生活を全うできたと思います。非常に有意義な2年間でした。

専門医制度の改定、働き方改革など、日本の研修制度は今まさに過渡期です。それは良い方にも悪い方にも転ぶかも知れませんが、当院での初期研修をこなせば今後の医者人生を乗り切る自信がつくと思います。

● 今井 啓太 (2017年 新潟大卒)

ホームページをご覧頂き、誠にありがとうございます。学生生活をいかがお過ごしでしょうか。

私の当院での2年間の研修は熱心な指導をして頂ける先生方と頼もしい同期に囲まれて充実していたと実感しております。一方で後悔や反省点も数えきれない程あり、日々精進する必要があると痛感しております。来年度からも初心を忘れず、精進していく所存です。

院内外で関わった全ての方に心より感謝の意を申し上げます。

● 神山 真人 (2017年 慶應大卒)

まずは諸先生方、その他の関係者の方々に多大なご迷惑をお掛けしたことを謝罪致します。

一方で、皆さまの多大なご尽力により、医療のいの字も知らなかった自分が少しは医療を齧った存在になれたのかなとも思います。雰囲気(と部活の練習場所からの近さ)を理由に当院での研修を選択させて頂きましたが、ここまで医療を経験させて頂けるとは思っていませんでした。当院の研修環境は「やる気があれば何でもできる」環境であったと思います。学生時代は、朝仕事に行くときは気が重くなるものかと想像していましたが、ここでは(基本的には)そんなことはなかったです。

2年間本当にありがとうございました。私は4月から那須で外科医になりますが、初心を忘れずに精進していこうと思います。学生さんはまずは見学に来てみて下さい！

● 島田 嵩 (2017年 慶應大卒)

研修生活も2年が経ち、日々の診療では至らぬ点も多く反省するばかりでしたが、忙しくも充実した研修生活を送る事が出来ました。当院での研修の特徴は、やはり多くの手技をびっくりするほど徹底的に経験できる事、そして指導医の先生方から綿密にご指導頂ける事にあると思います。

当直では上級医の先生方と密に接する事が多く、未熟な自分にも手取り足取り教えて下さり、研修環境の良さを実感しました。2年間有難うございました。

● 清水 智子 (2017年 群馬大卒)

2年間のローテートで内科、外科、救急外来、麻酔科などバランス良く研修を行えました。
志望科によらず研修先として素晴らしい病院だと思います。

● 谷口 枝穂 (2017年 慶應大卒)

済生会中央病院での2年間は、1日1日がとても濃厚で、風のように過ぎて行きました。眠る以外の時間のほとんどを、常に憧れの存在で居続けてくださっている先輩方や、切磋琢磨できる優しい同期たち、頼もしい後輩たちと一緒に駆け抜けてきたのだと思います。

思い起こされることは、楽しいことや嬉しいことばかりでなく、悲しいこと辛いこと、不甲斐なさや反省ももちろんたくさんありますが、とても充実した心満たされる日々でした。

この2年間、数えきれないくらい多くの患者さんと触れ合い、患者さんたちからたくさんのことを教えていただきました。そして数えきれないくらい多くの知識や手技、思考力を、いつも熱く優しい上級医・コメディカルの皆さんから学ばせていただきました。

まだまだ駆け出しの身です。これから先、たとえ不安や迷いがある時も、済生会中央病院で得られた経験を道標として、前を向いて歩み続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

● 伝田 竜之介 (2017年 東京慈恵会医科大卒)

医師としては未だに駆け出しですが、教育熱心な上級医の先生方、優秀な同期や後輩に囲まれ、医学的な知識や手技だけでなく、今後医師として働く上での心構えを学ぶことができたと思います。楽しいことだけではありませんでしたが、間違いなく充実した2年間だったと思います。

今後も初心を忘れず、日々精進していきます。ありがとうございました。

● 中島 英恵 (2017年 慶應大卒)

進路が決まっていなかった段階で初期研修を迎えましたが、2年間の中で内科・救急を中心に多くの症例数を経験し、幅広く初期診療に対峙したことは来年以降の強みになりました。

忙しい業務の中で、進路に関係なく熱心に指導してくださる先生方の存在は貴重であり、済中の研修の強みだと思います。

● 橋本 考明 (2017年 北里大卒)

2年間の研修生活が終わりましたが、済生会中央病院の先生はアットホームに指導して下さり充実した研修生活を送ることが出来ました。

ぜひ一度見学に来てください。一緒に働くことを心待ちにしています。

● 古部 快 (2017年 慶應大卒)

この2年間は緊張感があり、刺激的で充実した日々でした。やる気のある同期や後輩、指導熱心な先生方の中で、医師としてだけでなく社会人としても成長することができました。改めてお世話になった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

まだまだ未熟ですが、済中での経験を活かし、責任ある立場として社会に少しでも貢献できるように努力していきたいと思っています。

● 村瀬 直人（2017年 順天堂大卒）

よき同期、先輩、後輩に恵まれあっという間に2年間に過ぎてしまいました。手に汗握る場面や反省すべき点、また楽しかったことなどたくさんありますが、結果的にこの病院を選んで良かったと思っています！2年間忙しくて辛いこともあると思いますが、その分得られるものも多いと思うので、ちょっとでも興味ある方はぜひ見学に来て下さい！